

施工説明書

室内物干しユニット ホシ姫サマ 天井直付け 手動タイプ

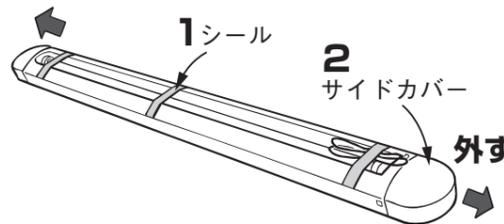
■操作コードの引き上げ高さ調整

[寸法単位：mm]

- 注意**
- この作業は工務店様にて行ってください
 - 商品を取り付ける前に調整してください。

本製品は天井高2400mmに取り付けるように設計しています。
天井高に応じて操作コードの長さを調整してください。

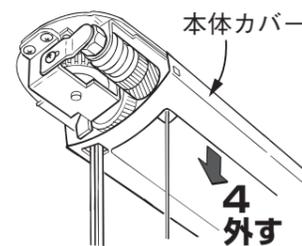
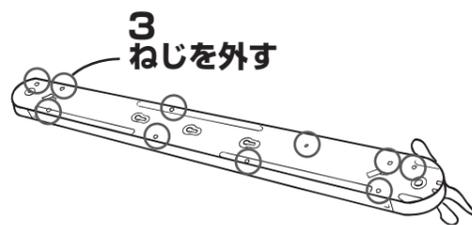
1. 竿を固定しているシールを全てはがす。



2. サイドカバーを外す。

3. 本体裏面のねじを外す。

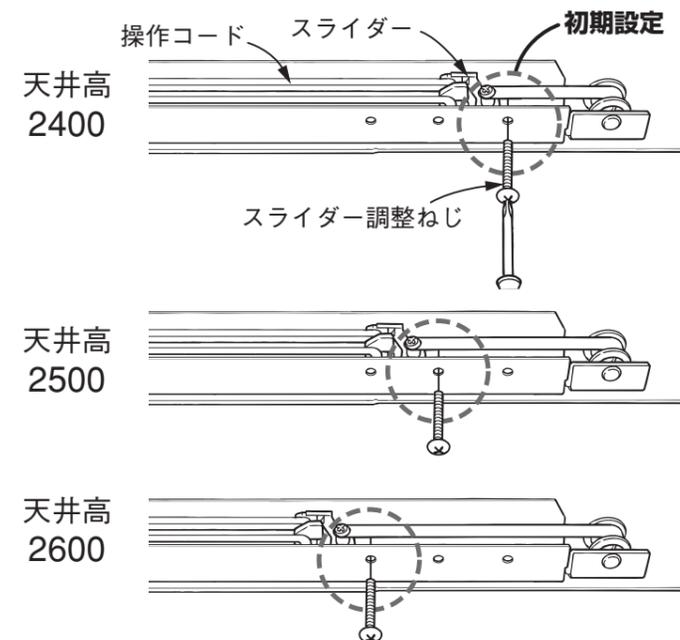
4. 本体カバーを外す。



5. スライダー調整ねじを外し、お使いになる天井高の位置に合わせ、スライダー止め金具を移動させる。

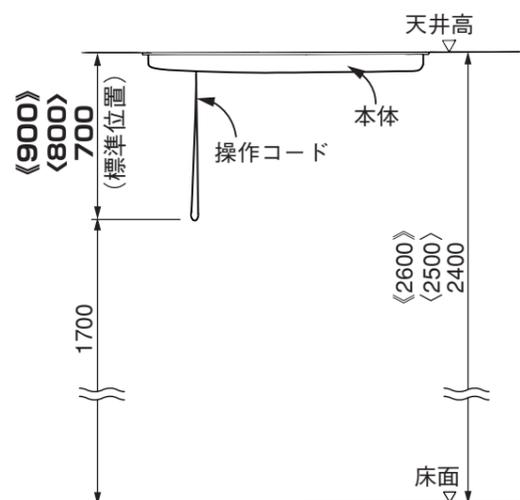
6. スライダー調整ねじを取り付ける。

ねじとベースの固定



【操作コードの調整範囲】

下図の通り合計3パターンで調整が可能です。



施工後の確認

チェック項目	チェック
本体が確実に取り付けられていますか？	
操作コードを引っ張ると、竿が昇降しますか？	
最上部で竿が本体に収納しますか？	

松下電工株式会社 収納システム事業部
[〒571-8686] 大阪府門真市門真1048

室内物干しユニット (ホシ姫サマ)

施工店様へ このたびは当製品をご採用いただきありがとうございました。

- 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取扱説明書・ご愛用者ハガキは必ずお客様にお渡ししてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- 施工される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
- 表示内容を無視して誤った設置をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です)



警告

この表示の欄は「死亡や重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。



この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告



分解禁止

- 商品の分解・修理・改造は絶対しない。火災、感電や故障の原因となります。



必ず守る

- 本体は十分強度のあるところに確実に取り付ける。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



必ず守る

- 必ず付属のねじを使用する。それ以外のねじを使用すると落下によるけがの原因となります。
- 取り付け位置に注意する。照明器具や火災報知器の近く、暖房器具などを置くような場所や、使用時に竿に当たるような場所では、火災や落下によるけがのおそれがあります。



注意



禁止

- 付属の竿以外は使用しない。落下によるけがの原因となります。

■梱包内容

名称	数量	内容	入り数
本体一式	1セット	本体	1
		竿	1
		竿受け	2
取り付け部品	1セット	本体固定用ねじ (φ5×40)	4
説明書	1セット	施工説明書	
		取扱説明書 (施工様用)	
		ご愛用者ハガキ (施工様用)	

この説明書は再生紙を使用しています。

JH-35 第2版 0611

施工前のご注意

■取り付け場所にご注意ください。

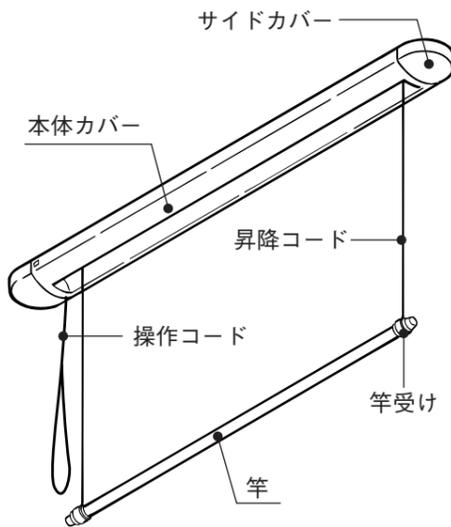
施工可能な天井下地

天井仕上げ	対応	天井仕上げ	対応
二重天井(木製下地)	○	梁(構造躯体にクロス直貼)	×
二重天井(軽量鉄骨下地)	○	直天井	×
梁(配管部に下地+石膏ボード)	○		

- 出入口や人の動きのさまたげになる場所には取り付けないでください。
※また、窓際に取り付ける際は、ハンガーなどにかけた洗濯物がカーテンに当たらないように取り付けてください。
- 勾配天井には取り付けないでください。
- テラスなど屋外や浴室には、取り付けないでください。
※故障の原因となります。
- 物干しユニットを取り付ける場所に除湿機や換気扇などを取り付けをおすすめします。

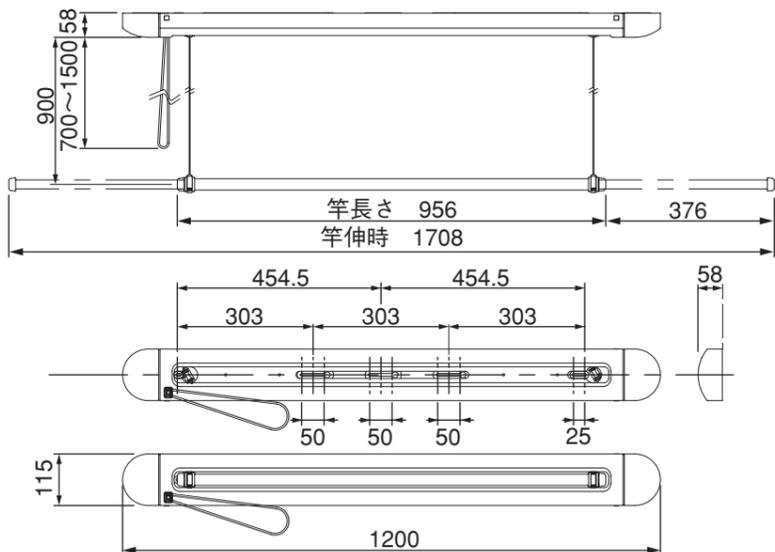
- 竿は当社専用の竿をご使用ください。
※トラブルの原因となります。
- 商品を施工する前に操作をしないでください。
昇降コードがからみ、故障の原因となります。
- 本体の取り付け高さにご注意ください。
※本製品は天井高2400mmの位置に取り付けるように設計しています。天井が高い場合操作しにくいことがあります。「操作コードの引き上げ高さ調整」を参照してください。

各部のなまえ



寸法図

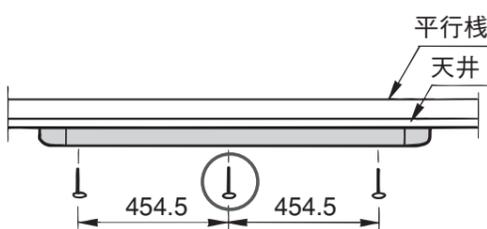
[寸法単位: mm]



施工のしかた

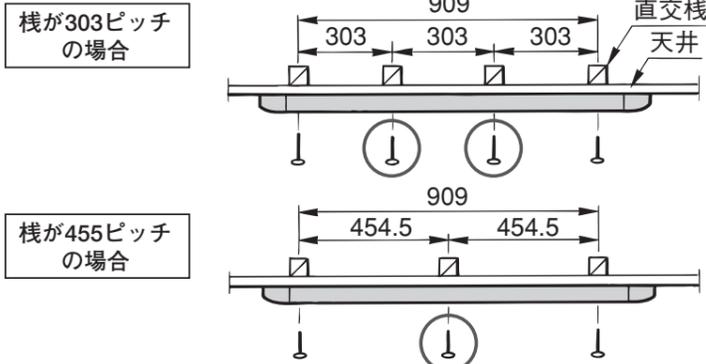
1 固定位置の決定

■ 棧に対し平行に取り付ける場合



○ 仮止め用ねじ

■ 棧に対し直交に取り付ける場合

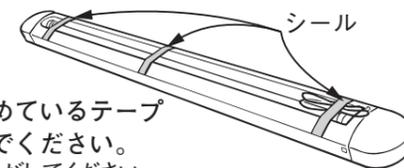


注意 必ず守る
●本体は十分強度のある棧に確実に取り付け。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2 商品の設置

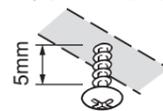
※操作コードの引き上げ高さを調整する場合は、商品を設置する前に行ってください。
(「操作コードの引き上げ高さ調整」参照)

1. 竿を固定しているシール (3か所) をはがす。



※昇降コードを留めているテープは、はがさないでください。
(4. 本固定後にはがしてください。)

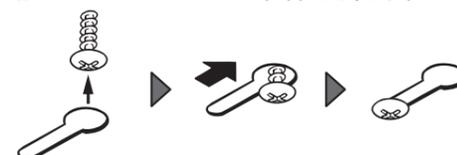
2. 棧にねじを仮止めする。



施工のポイント

仮止め・本固定する棧が軽鉄の場合は、棧にφ2程度の下穴をあけてから行ってください。

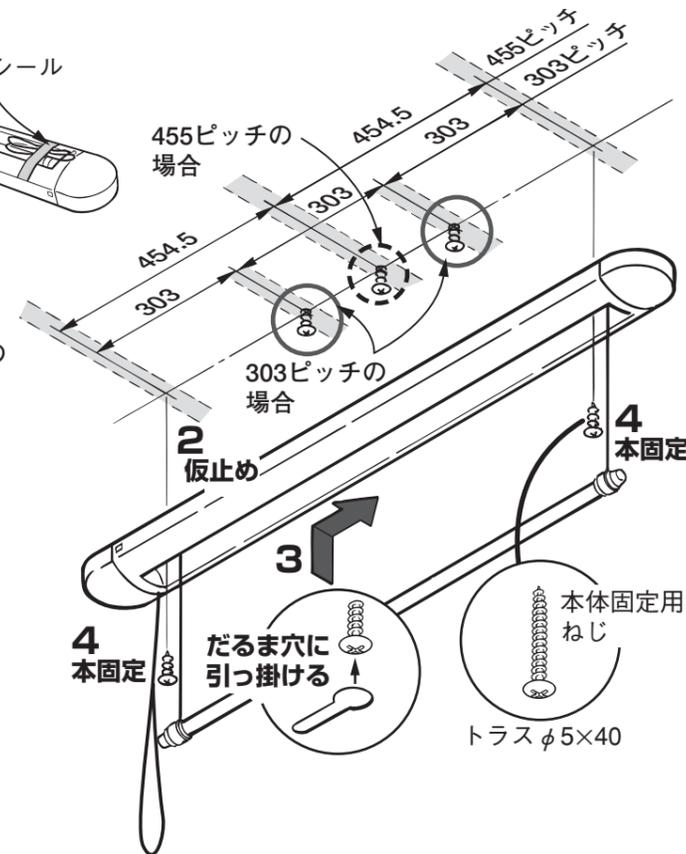
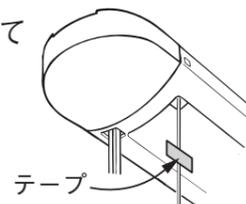
3. 仮止めしたねじに本体を引っ掛ける。



4. 本固定する。

- ① 両端を本固定し、
- ② 仮止めしたねじを本固定する。

5. 昇降コードをとめているテープをはがす。

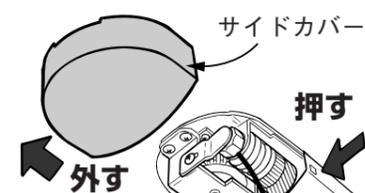


注意 必ず守る
●本固定した後に昇降コードをとめているテープをはがす。守らないと、本体変形による破損の原因となります。

■ 竿の水平調整

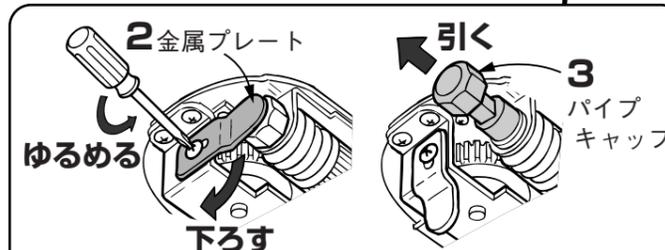
商品の設置後、竿が水平でない場合は、以下の要領で調整してください。

1. 突起を押し、サイドカバーを外す。



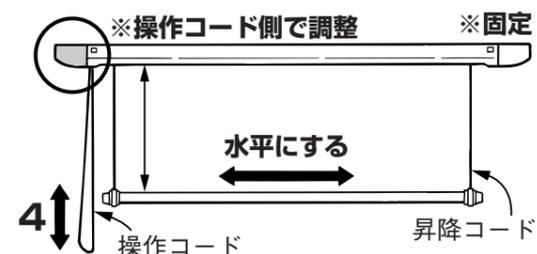
2. 金属プレートのねじをゆるめて下ろす。

3. パイプキャップを引く。



※元に戻す際は、外しかたと逆の手順で行ってください。

4. 操作コードを動かし調整する。
(操作コード側だけが上下します。)



5. パイプキャップを元に戻す。
(しっかり最後まで戻してください。)

6. 金属プレートを元に戻す。

7. サイドカバーを元に戻す。
(カチッと音がするまで戻してください。)